

教養としての〈まんが?アニメ〉



[教養としての〈まんが?アニメ〉_下载链接1_](#)

著者:大塚 英志

出版者:講談社

出版时间:2001-5

装帧:新書

isbn:9784061495531

手塚治虫、梶原一騎、宮崎・高畑から、ガイナックス、岡崎京子まで

作家たちは、なにと戦ってきたか

飛雄馬がアトムから引き継いだものは? アニメ版トリトン最終回の衝撃とは?

主人公の内面をどう描くか。メディアミックスの先駆者はだれか。戦後の古典、名作

をたどり、作家たちの手法を読み解く決定版。

作者介绍:

【大塚英志】

1958年東京都生まれ。筑波大学卒。フリーの編集者としてまんが誌の編集に関わる一方で、評論家、まんが原作者、小説家としても活動。評論家としての仕事に『物語の体操』――朝日新聞社、『戦後まんがの表現空間』――法蔵館、小説家としての仕事に『木島日記』――角川書店、『多重人格探偵サイコ』――講談社――などがある。学習院女子大学非常勤講師。

【ササキバラ・ゴウ】

1961年秋田県生まれ。早稲田大学文学部卒。85年徳間書店入社、まんが畑を歩む。「少年キャプテン」編集長などを務めた後、95年退社。現在フリーのライター・編集者。

目録: 第1部 まんが論

手塚治虫―「成熟の困難さ」と戦後まんが

梶原一騎―未完のビルドゥングスロマン

萩尾望都―主人公の内面をどう描くか

吾妻ひでお―「おたく」なるものの起源

岡崎京子―高度資本主義下の少女まんが

第2部 アニメ論

宮崎駿と高畑勲―『ホルス』が開いた新しい時代の扉

出崎統一ジューブナイルの物語構造

富野由悠季―アニメの思春期

ガイナックス―プロとアマチュアの境界

石ノ森章太郎―メディアミックスの先駆者

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[教養としての〈まんが?アニメ〉 下载链接1](#)

标签

日本

动漫研究

评论

[教養としての〈まんが?アニメ〉 下载链接1](#)

书评

[教養としての〈まんが?アニメ〉 下载链接1](#)